



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 231  
June  
2012

## トピックス

### メンバー国との防災協力推進

カンボジアにおける学校での防災教育の推進事業

### 国際会議への参加

国際危機管理学会 (TIEMS) 日本支部設立シンポジウム

アジア公共政策フォーラム

### お知らせ

チャンダナ ディナーシュ (スリランカ)

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

### ●メンバー国との防災協力推進

#### カンボジアにおける学校での防災教育の推進事業

2012年3月27日から28日に、アジア防災センター (ADRC) はカンボジア教育・青少年・スポーツ省と協力し、「学校での防災教育の推進事業」の教員に対する研修 (TOT) をカンボジア・プノンペンにて実施しました。本プロジェクトは日本アセアン統合基金プロジェクトの1つであり、アセアン10カ国における学校での防災教育推進を目的として、教員研修や研修を受けた教員による模擬授業を小学校、中学校レベルで実施しています。

2日間の教員研修には、プノンペンのバンテアイ小学校とアレイクサート中学校から10人の教員が参加しました。始めに、参加者はカンボジア国家防災委員会防災研修局副局長のソート・キムコルモニー氏より、カンボジアの自然災害や防災体制などについて講義を受けました。更に、日本の国立教育政策研究所五島政一総括研究官から日本の防災教育事情について教材を交えながら紹介がありました。講義の後は、防災に関する事項を如何に学校のカリキュラムに追加していくかについて積極的に議論しました。

教員研修 (TOT) に続いて、2012年5月4日に教員研修の参加者が其々の小学校、中学校において模擬授業を実施しました。バンテアイ小学校の4年生の社会科の授業では、カンボジアの土地利用についての紹介がありました。生徒たちは、カンボジア最大の湖トンレサップ湖周辺が稲作に適した環境であるとともに、洪水のリスクも高い地域であることをグループ討論をしながら学びました。また、模擬授業には教員研修参加者のみならず、他の教員もオブザーバーとして参加し防災教育の教授法を学びました。

5月5日には、模擬授業の成果を共有するため、オブザーバー教員とともにセミナーが開催されました。教員からは、自然災害に対する知識を深めたい、教員研修の機会を増やして欲しいという意見が数多く出されました。



[セミナーの様子]



[模擬授業の様子]

**●国際会議への参加****国際危機管理学会 (TIEMS) 日本支部設立シンポジウム**

国際危機管理学会は、危機管理や防災に関する革新的手法・技術の情報共有を図り、自然災害をはじめとするさまざまなリスクに対する回避や軽減を通じて、対応力・復旧能力の向上を図ることを目的としています。また、国際危機管理学会は1993年に設立された世界的ネットワークで、本部をベルギーにあります。この度、同学会の日本支部が創設される運びとなり、それを記念するシンポジウムが5月22日東京都新宿区において開催されました。

ADRCからは、「アジアの自然災害リスクの動向」について講演を行い、①アジアにおける自然災害の犠牲者数が世界の各大陸の中で最大を示す一方、②グローバリゼーションの進展に伴い自然災害による経済的被害が大規模に波及する傾向を指摘するとともに、③ADRCによるアジアの防災協力活動について紹介しました。また「アジアにおけるレジリエンスの向上」パネルディスカッションにパネラーとして登壇し、レジリエンス向上に向けた国際的協働のあり方について、防災は多様なステークホルダーが関与するので、政府・民間・学術等多層的なレベルにおける交流の重要性を指摘しました。

さらに翌日開催された分科会においても、「アジア地域の民間企業における事業継続計画BCP策定状況」と題した地域レジリエンシー向上とBCP普及促進に係る発表を行いました。

**アジア公共政策フォーラム**

ハーバード・ケネディ・スクールとシンガポール大学は共同でアジア公共政策フォーラムを開催いたしました。フォーラムには大学、研究機関、民間企業、政府などから約80名が参加し、アジアの災害対策をテーマに各種報告が行われ、活発な議論が展開されました。

民間企業のBCP取組推進をテーマにしたセッションではADRCがモデレーターとして参加し、効果的な官民連携の促進に向けた公共政策の在り方について議論を行いました。

<http://www.ash.harvard.edu/ash/APPF>

**●お知らせ****チャンダナ ディネーシュ (スリランカ)**

私はスリランカから来たチャンダナ・ディネーシュと申します。現在、京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻で環境空間情報論分野の博士課程の学生として在籍しています。大学での研究分野は「衛星写真及び航空写真を用いた自然災害による建物被害を自動抽出する方法の開発」です。衛星写真及び航空写真を用いた建築被害の抽出は、災害時における危機対応という点において重要な役割を果たします。また高解像度画像は、道路や建物、インフラなどの地物を効果的にとらえることが出来ます。この研究においては、災害時の復興復旧対応支援としても友好的であると考えています。

現在、私は京都大学大学院の博士課程の学生とあわせて、アジア防災センターにインターンとして席を置いています。今回このような機会を頂いたことに感謝を申し上げます。アジア防災センターにおいては、災害軽減において、専攻であるリモートセンシングの知識を職員の皆さんと共有させて頂きたいと思っております。

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。